

令和4年10月20日

【新型コロナワクチン】今後の接種体制をお知らせします

インフルエンザとの同時流行や今後の感染の波に備えるため、下記により接種を進めていきます。重症化リスクの高い高齢者などだけでなく、若い方も早めに接種されるようお願いいたします。

記

オミクロン株対応ワクチン

1 若年層や働く世代の接種促進 NCV ふくしまアリーナでの政策的集団接種

(1) 事業所連携型集団接種

- ①実施日：10月25日～11月11日の間で14日間実施（夜間の実施もあり）
- ②対象者：市内の24事業所・消防団など 約3,800人

(2) 大学生の集団接種

- ①実施日：11月6日から1カ月程度
- ②対象者：福島大学・桜の聖母短期大学・福島県立医科大学の学生

(3) 夜間接種

- ①実施日：10月21・28日、11月1・2・4・8～11・18・25日
- ②対象者：3～5回目接種時期を迎えている12歳以上（使用ワクチンがモデルナの場合は18歳以上）の福島市民・飯舘村民・本市への避難者

(4) 予約無し接種

- ①実施日：10月18～28日（20・22～24日を除く）
- ②対象者：3～5回目接種時期を迎えている18歳以上の福島市民・飯舘村民・本市への避難者

(5) 福島圏域広域連携による小児の集団接種

- ①実施日：10月1・8・15・22・29日、11月5・19日
※利用しやすい土曜日に設定。
- ②対象者：3回目接種時期を迎えている7歳～11歳

（参画自治体：福島市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、飯舘村）

2 3～5回目接種券発送

3～5回目接種の前回接種との接種間隔が、10月21日から3カ月に短縮（従来は5カ月）される見込みのため、速やかに予約・接種ができるよう下記により接種券を発送します。

前回接種日	発送日（配達まで数日かかります）	人数
7月31日まで	10月24日	約39,000人
8月15日まで	10月31日	約18,000人
8月31日まで	11月7日	約25,000人

3 BA.1 対応型から BA.4-5 対応型への切り替え ※接種はいずれかを1回のみ

(1) 経過と本市の対応

国では、いずれもオミクロン株に対して従来型を上回る効果が期待されており、従来株・オミクロン株の2種類の成分があることで誘導される免疫が、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられることなどから、どちらか早く打てる方を打つよう推奨しています。

これを受け本市では、オミクロン株対応ワクチンであれば効果に大きな差は無いと考えられること、さらにワクチンの有効活用の観点などから、BA.1 対応型を概ね使い切ってから BA.4-5 対応型に切り替える予定です。

(2) 切り替え時期（ワクチンの使用・予約状況により変更する場合があります）

個別接種：11月中旬頃

集団接種：11月いっぱいには BA.1 対応型の見込み。

ワクチンの残数などに応じて BA.4-5 対応型に切り替え

乳幼児（生後6カ月～4歳）の接種

1 接種の概要

対象者	接種回数	使用するワクチン	努力義務
生後6カ月～4歳	3回	ファイザー社製（生後6カ月～4歳用） ※オミクロン株対応ではありませんが、 オミクロン株などへの効果が確認されています。	適用

■接種間隔

1回目の3週間後に2回目、2回目の8週間後に3回目を接種します。

ほかのワクチンとは前後2週間以上空ける必要がありますが、インフルエンザワクチンは同時に接種できます。

※現行の制度では、令和5年3月末で新型コロナワクチンの接種は終了します。令和5年3月末までに3回の接種を完了したい場合、遅くとも令和5年1月13日頃までに1回目の接種完了が必要です。

2 接種券発送

10月28日（金）発送 対象者：約8,000人

3 接種開始日

11月9日（水）

4 接種体制

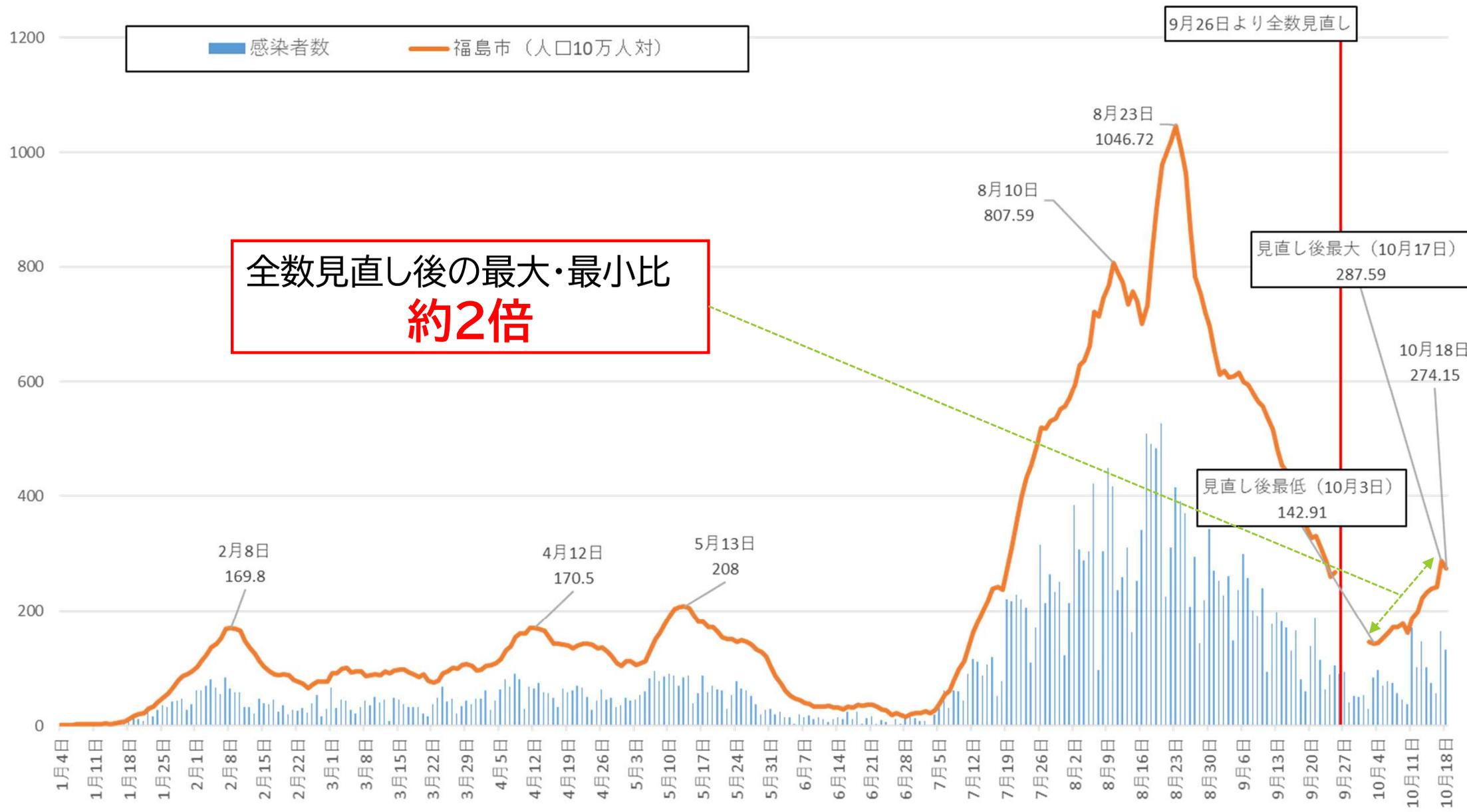
5 医療機関による個別接種

5 その他

接種券が届いたら予約できます。ご家族などでよくご検討の上、接種について判断してください。また、基礎疾患やアレルギーなどがある方はかかりつけ医とご相談の上、接種をご検討ください。

担当:保健所 新型コロナワクチン接種対策チーム
課長 児玉 主任 川村 電話 024-597-6203 (直通)

福島市新規陽性者数の推移



※全数見直し後は福島市保健所管内分

オミクロン株対応コロナワクチン

若年層や働く世代の接種促進 NCVふくしまアリーナでの政策的集団接種

区分	実施日	対象者
事業所連携型集団接種	10月25日～11月11日の間で14日間実施（夜間の実施もあり）	市内の24事業所・消防団など 約3,800人
大学生の集団接種	11月6日から1カ月程度	福島大学・桜の聖母短期大学・福島県立医科大学の学生
夜間接種	10月21・28日 11月1・2・4・8～11・18・25日	3～5回目接種時期を迎えている12歳以上（使用ワクチンがモデルナの場合は18歳以上）の福島市民・飯舘村民・本市への避難者
予約無し接種	10月18～28日 （20・22～24日を除く）	3～5回目接種時期を迎えている18歳以上の福島市民・飯舘村民・本市への避難者
福島圏域広域連携による小児の集団接種	10月1・8・15・22・29日 11月5・19日 ※利用しやすい土曜日に設定。	3回目接種時期を迎えている7歳～11歳 参画自治体：福島市、伊達市、桑折町、国見町、川俣町、飯舘村

3～5回目接種券発送

3～5回目接種の前回接種との接種間隔が、10月21日から3カ月に短縮(従来は5カ月)される見込みのため、速やかに予約・接種ができるよう下記により接種券を発送

前回接種日	発送日 (配達まで数日かかります)	人数
7月31日まで	10月24日	約39,000人
8月15日まで	10月31日	約18,000人
8月31日まで	11月7日	約25,000人

BA. 1対応型からBA. 4-5対応型への切り替え ※接種はいずれかを1回のみ

国

- いずれもオミクロン株に対して従来型を上回る効果が期待されている
- 従来株・オミクロン株の2種類の成分があることで誘導される免疫が、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられる

どちらか早く打てる方を打つよう推奨

本市

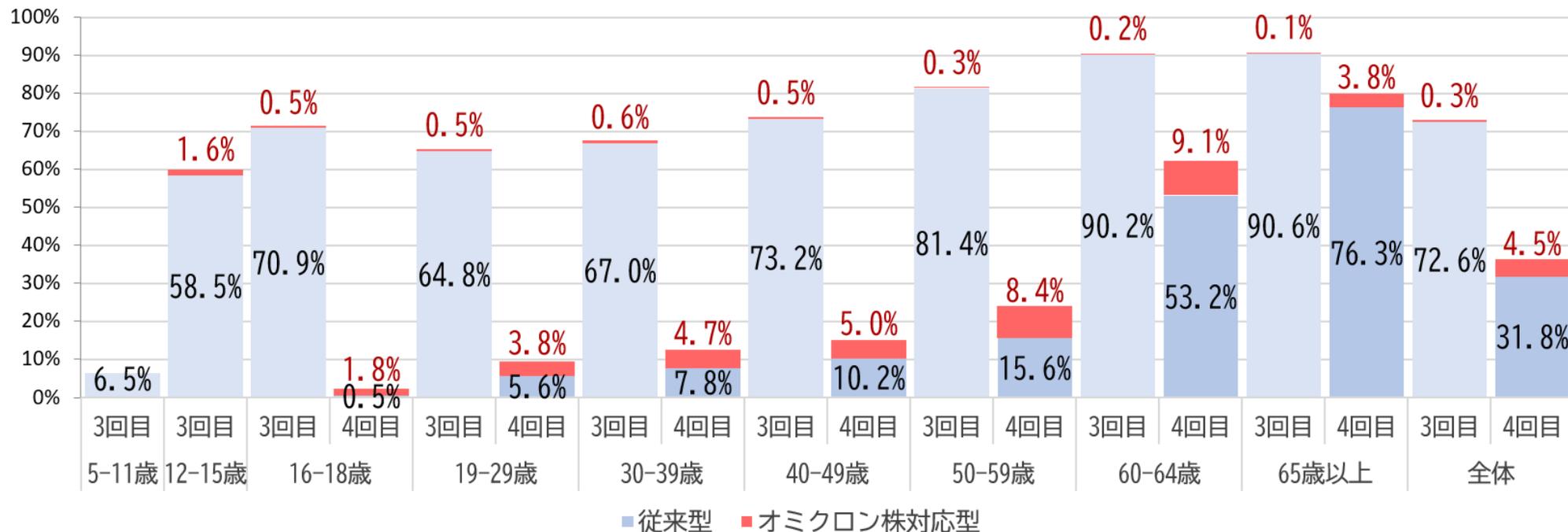
- オミクロン株対応ワクチンであれば効果に大きな差は無いと考えられる
- 一方で、ワクチンの有効活用も重要

BA. 1対応型を概ね使い切ってから
BA. 4-5対応型に切り替え

個別接種：11月中旬頃に切り替え
集団接種：11月いっぱいにはBA. 1対応型の見込み。ワクチンの残数などに応じてBA. 4-5対応型に切り替え
(ワクチンの使用・予約状況により変更する場合あり)

オミクロン株対応コロナワクチン

年代別3・4回目接種率（従来型・オミクロン株対応型）：対全人口 10月19日時点



オミクロン株対応ワクチン接種率：対2回目接種完了者(約22.8万人) 10月19日時点

	12-15歳	16-18歳	19-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65歳以上	全体
接種数	241	174	1200	1,522	2,047	3,186	1,639	3,237	13,246
接種率	2.9%	2.6%	4.8%	6.1%	6.2%	9.5%	10.0%	4.0%	5.8%

乳幼児(生後6カ月～4歳)の接種

乳幼児(生後6カ月～4歳)の接種の概要

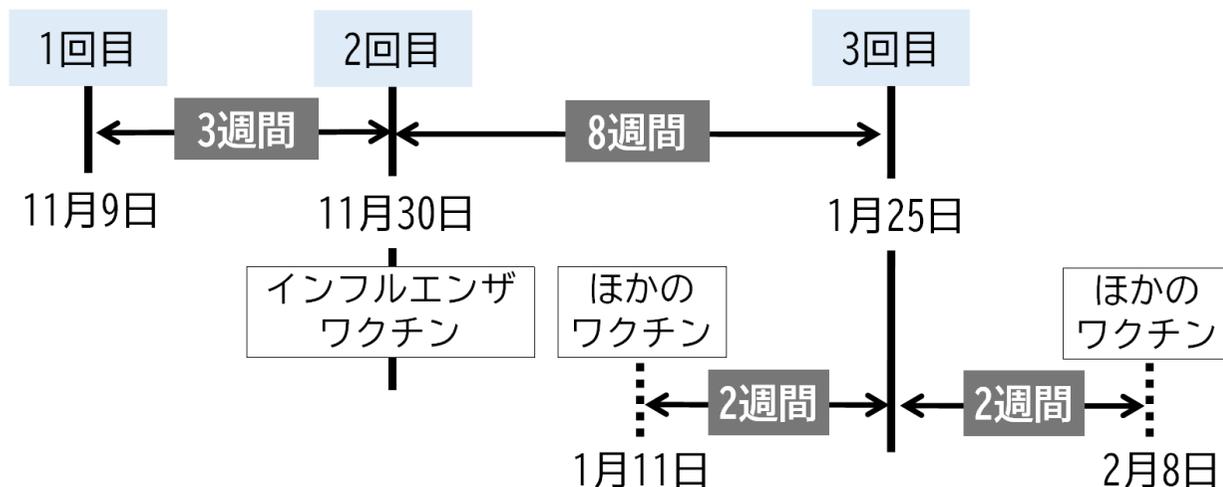
対象者	接種回数	使用するワクチン	努力義務
生後6カ月～4歳	3回	ファイザー社製(生後6カ月～4歳用) ※オミクロン株対応ではありませんが、オミクロン株などへの効果が確認されています。	適用

乳幼児(生後6カ月～4歳)の接種

● 接種間隔

- ・ 1回目の3週間後に2回目接種
- ・ 2回目の8週間後に3回目接種

ほかのワクチンとは前後2週間以上空ける必要があるが、インフルエンザワクチンは同時に接種可能



※現行の制度では、令和5年3月末で新型コロナワクチンの接種は終了します。

令和5年3月末までに3回の接種を完了したい場合、

遅くとも令和5年1月13日頃までに1回目の接種完了が必要です。

● 接種券発送 10月28日発送 対象者：約8,000人

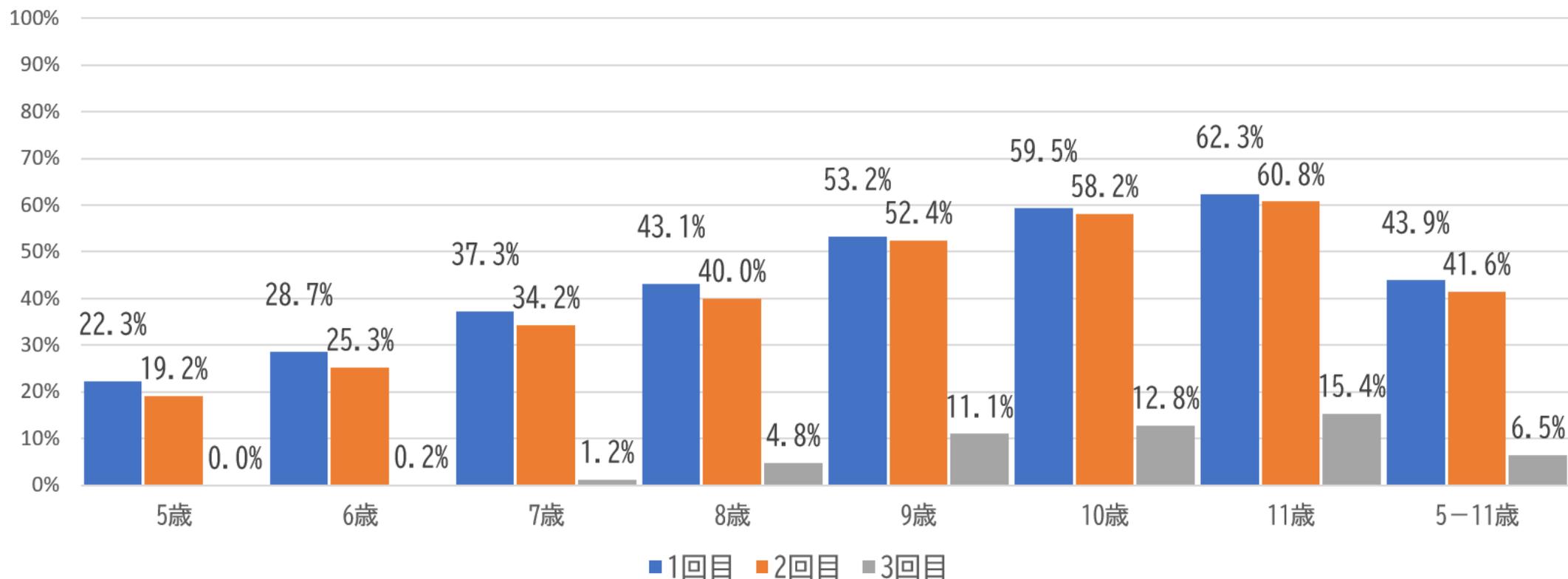
● 接種開始日 11月9日(水)

● 接種体制 5医療機関による個別接種

接種券が届いたら予約できます。ご家族などでよくご検討の上、接種について判断してください。また、基礎疾患やアレルギーなどがある方はかかりつけ医とご相談の上、接種をご検討ください。

乳幼児(生後6カ月～4歳)の接種

<参考>5～11歳の接種率：対人口 10月19日時点



インフルエンザとの同時流行や
年末年始の感染拡大に備え
早めの接種をお願いします